

このゆび
とーまね！



大井保育園にて



大井町 議会だより

第2回定例会 P 2
条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい P 7
6人が町政を問う！
議会活動報告 P10
先進自治体を視察

町のこの人あの人 P12

自分たちの手で、
大切な場所を守りたい

山田地区

うちだ かずま
内田 数馬さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

補正予算を含む 議案23件を可決

第2回定例会
6月3日～6日

会議内容	件数
一般質問	6人
条例	5件
専決処分 の承認	2件
補正予算	3件
契約	3件
ほか	ほか

条例

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
(賛成全員)

＊国会議員の選挙等に際し、選挙執行地方公営共団体委託費における単価が増額されることに鑑み、投票管理者等の報酬を増額するため、所要の改正を行うもの
問 投票所の管理者や立会人は長時間に渡る

ため、高齢の方の負担が大きいと聞いている。条例上は日額とあるが、時間を分けて従事することは可能か。
答 手続き上は可能である。申し出があれば、前向きに考えていきたい。

補正予算

一般会計(第1号)
(賛成10・反対2)

＊歳入については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、新しい経済・生活環境創生交付金などを計上し、歳入は、歳入に計上した収入を財源とする事業や、路面下空洞化調査のための道水路維持測量委託料などを計上するもの
問 上大井駅舎の改修規模は。
答 規模は現状のまま、瓦を軽量化するなど耐震性を強化する。

問 改修した場合、駅舎の維持管理は誰が行うのか。
答 J R東海からは、駅舎もトイレも不要という判断をされたので、町で管理していく。

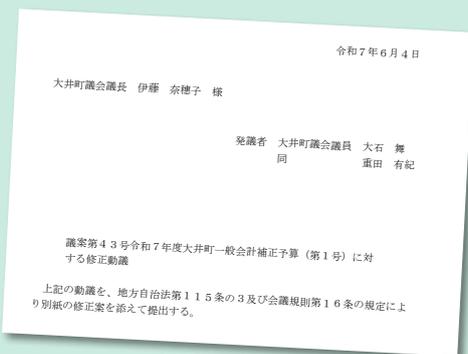
問 認定こども園の設立の目的や効果は。
答 施設の老朽化等の課題もあり、第二幼稚園を改修して幼保連携型認定こども園とする方針。目的は、待機児童の解消や保育環境の整備、施設の集約化などである。

問 設置形態は。
答 町立の認定こども園を考えている。

問 建替えや新設という選択肢はなかったのか。
答 新たに土地の購入は考えていない。町有地の検討はしたが、現有施設で敷地の面積も広い第二幼稚園が有効に使えるという考えとなった。

補正予算に対する修正動議

令和7年第2回定例会では、以前より課題とされてきた幼保一元化に関する補正予算が提案されました。子ども・子育て支援施策における選択肢の一つとして検討を進めてきた認定こども園について、このたび土地利用上の規制緩和に明るい兆しが見えたことから、基本設計費として855万円余を計上したいというものでした。具体的には、園舎の老朽化が進んでいる大井保育園と大井第二幼稚園の町立2園を統合し、認定こども園に移行させるという計画です。これに対し、補正予算審議中、大石議員から「議論の過程が全て非公開であり、内容を知る手段が全くない」などを理由に修正動議が提出されました。



第2回定例会

問 「認定こども園改修基本設計業務委託料」という科目名称で計上され、すでに合意されているかのようにあるが、総合計画第二次実施計画と子ども・子育て支援事業計画とは決定事項として読み取れない。計画から逸脱しているのではないか。

答 認定こども園の計画が可能になりそうだと判明したのは5月であり、それ以前に策定した子ども・子育て支援事業計画には具体的に盛り込むことができなかった。

問 子ども・子育て会議において、幼保一元化の具体的なメリットや中身については議論されたのか。

答 5月になって急遽県の土地利用に関する基準が見直されることとなったため、今回の予算計上に至った。昨年度の子ども・子育て会議では具体的な検討

はしていない。幼稚園や保育園という垣根が取りはらわれた中で、小学校教育につながるいき、学びの場が保障されていくと考えている。

問 県の許可は、今申請しなければ承認されないのか。

答 承認される見込みだが、先延ばしにする手続きが遅れ、実施設計や改修工事が1年、またその先へと遅れてくる。

問 今後、進捗については丁寧な説明がなされるのか。

答 もちろん力を合わせてやっていきたい。

問 既存の民間2園との協議や運営上の配慮は。

答 計画は伝えている。大井保育園と第二幼稚園を一緒にするという規模の計画なので、2つの民間保育所には影響が出ないかたちで、待機児童の解消になるように進める。

問 給食はセンター方式にするのか。

答 現在のところ未定である。

問 園区の編成は。

答 現時点の回答としては、現状のままを考えている。

問 今回の計画に関して、大井保育園や第二幼稚園に通う保護者、職員、町民に対しアンケート調査などは行ったのか。

答 本予算が承認されたのちに、意見をお伺いしたいと考えている。

問 アンケートなどを実施せず町民不在で方針を決めたのか。

答 認定こども園については平成27年から話が出ており、これまで現場の声を聴くなど状況を把握してきた。

問 町営住宅の修繕費の内訳は。

答 水回りの補修や壁紙、襖、畳などの原状回復となる。

問 町営住宅から退去

する際の自己負担は。

答 住宅条例の規定により、自己の責に帰するべきものについては負担いただくこととなる。

問 食農バリエーション創出委託料1100万円についての詳細は。

答 農作物を使った加工食品、地域のブランド化、6次産業化など、新たな価値の創出の予算で、研修会の開催費用800万円と法人設立のためのアドバイザー費用300万円である。



ちょっと待った!



詳しくは議会HPの会議録検索システムでご確認ください。

大石議員からなされた一般会計補正予算に対する修正動議は1人以上の賛成を得て成立し、「認定こども園改修基本設計業務委託料」を削除する修正案が提出されました。修正案及び原案に対する討論(次頁参照)が行われた後、それぞれ採決に移りました。

その結果、修正案は賛成少数により否決され、原案は賛成多数により可決されました。

工事請負契約の締結

工事請負契約の締結について（総合体育館第1期改修工事）

（賛成全員）

*総合体育館第1期改修工事の工事請負契約を締結するもの

問 工事中であっても避難所として使えるのか。**答** 災害時は出来る限り使えるように事業者と調整する。

選挙

南足柄市外2ヶ市町組合議会議員の選出

*任期満了に伴い後任者を選出するもの

安池 範明 氏
（西大井）

議員討論

令和7年度一般会計補正予算（第1号）については、修正案が提出され、原案とともに本会議で討論が行われました。

修正案賛成討論

重田 有紀

町立認定こども園設立経緯に疑問

突如、町立認定こども園を設立するとの方針が示された。2年間議論したというが、議論は非公開、議会への情報提供さえただの一度もされていない。行政と議会の信頼関係を揺るがす事態であり看過できない。

更に議会への報告から僅か2週間で、800万円超を補正予算に計上。子育て支援策の軸ともいえる一大新規事業を、年度途中の補正予算に計上する姿勢も疑問。性急さの理由として、県の承認が見込めたことを挙げていたが、それさえ今でなければ承認されないというものではないとの答弁であった。

こども園設立で待機児童解消を目指すという。受け入れ人数等の詳細も示されない中で、こども園を設立するという事実だけでは、待機児童が解消される根拠にはなり得ない。

まだ何も決まっていないという主旨の町長答弁。まだ何も決まっていないその状態で、巨額な予算を、議会への情報提供もせず計上する姿勢は問題視されなければならない。町長は、行政と議会は車の両輪であると言う。この歩の進め方は、両輪で進んでいるように見えるのか。現時点での情報量では、町民への説明責任を果たせないばかりか、賛否を表することさえできない。よって修正案に賛成とする。

原案賛成討論

山崎 真弘

より活性化した町づくりに期待

議案第43号において、既定の歳入歳出予算の総額に1億7,112万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額は73億3,112万9千円となった。

歳入については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、新しい地方経済・生活環境創生交付金、市町村立学校働き方改革加速化補助金が主なものである。歳出については、物価高騰対応重点支援給付金として1億3,600万円であり、物価上昇により影響を受けている町民の生活を支える重要な施策である。また、食農バリューチェーン創出委託料として1,100万円は、地域の農業と食に関連する産業をつなげることで、町の経済の活性化、町の魅力の発信にもなり、誘客や関係人口の創出といった観光資源としての活用も考えられる。

認定こども園改修基本設計業務委託料は、大井第二幼稚園、大井保育園の老朽化、保育園の土砂災害等の安全性の課題もあり、また、第6次総合計画第2次実施計画にも掲載があるように幼保一元化として整備し進めていくことは、町の将来のために重要なことである。

本議案におけるこれら施策が、引き続き着実に推進され、より活性化した町づくりが展開されることを期待する。

企画経済常任委員会 による審査



6月5日、企画経済常任委員会では、本会議での付託により陳情第1号「上大井駅舎保全・存続と地域交流拠点としての整備」の審査を行いました。この陳情は、上大井駅舎存続と活用を考える会及び上大井自治会長から提出されたもので、要旨は、確実に駅舎の保存と活用が図られるよう、議会の支援と協力を求めるというものです。委員会では慎重なる審査の結果、採択すべきと決定しました。

主な質疑

- 問** 地元からは、どのような声があるのか。
- 答** 正式な聞き取りはしていない。町との意見交換会の場を活用して集約を行う。
- 問** 陳情者として、駅舎の具体的な活用案はあるのか。
- 答** 今後、地域の意見を積み上げていきたい。
- 問** 維持管理においては、地元の協力も必要と考えるが。
- 答** 駅舎が保存された場合は、あらゆる点で協力していきたい。
- 問** 多目的トイレとしての改修を想定しているか。
- 答** 財政面に配慮すると、今あるトイレの環境改善と考えている。



動議って何？

皆さんは、衆院本会議で国会議員が「ギョーローツ」と大声で叫ぶ場面を見たことがありますか？これは、若手議員の「登竜門」とも呼ばれていて、議長に対して動議を求め、議事進行を提案するものです。このように、議員から開議中に予定された議案以外の議題を出されることがあります。議事進行などの口頭での発議も動議となりますが、修正動議などの文書を備えた発議もあります。動議には原則として所定の人数の賛成者が必要で、本町議会会議規則においては「他に一人以上の賛成者がなければならぬ」としております。また修正動議に伴う案の提出においては、原案が「団体意思」つまり町全体の意思決定（議会だけの意思は「機関意思」と言います。）に関するものであれば、地方自治法で議員定数の十二分の一以上の発議が必要と定められており、本町議会では2人以上の連署によるものとなります。本町議会でも議案を委員会に付託するときに、若手議員が動議を発することがあります。「ギョー」と叫んだ時の初心を忘れず、取り組むことが大切です。



審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対員
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会の別 定例会・	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果											審議結果			
			笠井裕太	諸星光浩	鈴木武夫	大石舞	黒岩陣太郎	重田有紀	和田紀昭	山崎真弘	岡田幸二	鈴木磯美	牧野一仁		清水亜樹		
第1回臨時会	36	大井町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	大井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	大井町町営住宅条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	41	専決処分の承認について（大井町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	42	専決処分の承認について（大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	43	令和7年度大井町一般会計補正予算（第1号）に対する修正案	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
		令和7年度大井町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	44	令和7年度大井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	45	令和7年度大井町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	46	工事請負契約の締結について（令和7年度橋りょう補修工事（矢頭橋））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	47	物品購入契約の締結について（小中学校児童生徒学習用端末及び教職員指導用端末等購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	48	工事請負契約の締結について（総合体育館第1期改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 1	「上大井駅舎保全・存続と地域交流拠点としての整備」の陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	

町道501号線開通式典に参列

令和7年4月18日に町道501号線の開通式典が開催され、議長をはじめ全議員が参列しました。当日は、天気にも恵まれ、会場から望む富士山と箱根の山並みがとてもきれいでした。山田から赤田までをつなぐこの道路は5年にわたる工事の末、完成されたもので、地域の暮らしを守る役割だけでなく、観光面での利用も期待されます。



問 使用済み紙おむつ再利用事業導入検討調査の結果は。

町長 排出状況実態調査・参入可能性調査・建築候補地選定調査を実施。排出量の正確な把握と詳細な事業計画の作成が必要。建設候補地や概算費用は現時点では公表を控える。

問 今後の取組みは。

町長 町内の介護施設や保育園等に対しさらに聞き取り調査を行い、丁寧な説明をしていく。

問 進捗状況の公表は。

町長 今年度は、排出事業者や廃棄物処理事業者と協議を進めていくが、その協議内容を公表する予定はない。

【ジビエ等の利用について】

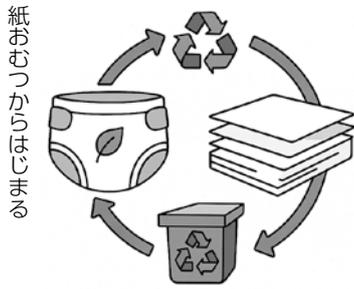
問 ジビエ料理の拡販戦略は。

町長 地元の飲食店との連携が重要。講習会や試食会と併せて、町内企業とのタイアップ事業として「ジビエフェア」を開催し、地域住民や来訪者に対する理解促進と需要喚起を図っていく。

問 ジビエ料理の安全性は。

町長 猟友会員に対して衛生講習と併せ、日本ジビエ振興協会による解体作業の講義も開催している。

問 命の大切さを学ぶ機会の提供は。



町長 「おおい自然園展示会」で剥製の展示などを行い、命の重みを伝えている。

問 分団の団員確保の現状と今後の対策は。

町長 充足率は年々低下している。各地域では課題の性質が異なり、それぞれに応じた対策を講じる。

問 現役団員の残留も視野に考えられないか。

町長 希望としては認めた。

問 消防団運営費交付金の支給基準を見直す考えは。

町長 社会情勢や消防団を取り巻く環境の変化など、対応は必要と考え協議会で検討する。

問 防災士の養成状況と活用状況は。

町長 令和6年度末までに分団長経験者で42

【自主防災組織のあり方について】

問 自主防災組織の現状と課題は。

町長 15の自主防災組織は代表を自治会長が兼務しており、任期で交代のため、知識・経験の蓄積ができないことや、自主防災活動に



新しくなった
第1分団待機宿舎



笠井 裕太 議員

Q 紙おむつリサイクル事業の取組みは

A 実施できる見通しが立った後、どのような事業を行っていくか公表したい



鈴木 磯美 議員

Q 消防団員の定数を 見直す考えは

A 消防・防災対策協議会の議題として取り上げ、必要性和その内容を判断する



議員 鈴木 武夫

Q 市場踏切東側の交通安全対策は

A 今年度、概略設計をして予備検討を行う

問 市場踏切は西側の道路は広くなったが、東側は狭く危険である。今年度の事業計画は。

町長 今年度は概略設計をし、予備検討を行う。

問 今後の改修計画と内容は。

町長 大々的な改良を含め、複数の案が考えられるが、今後は課題を整理し、JR東海と協議を行う。

【町の商業活性化対策について】

問 大井よさこいひょうたん祭は町の商業に貢献しているか。

町長 重要なイベントであり、経済振興に役

立っている。プレミアム付すいっぴー商品券は、他市町と比べてプレミアム率が低いが上げる考えは。

町長 長期的な補助事業として実施している。

問 町商工振興会からの要望は。

課長 プレミアム率を上げたいという意見がある。

問 大井町電子地域通貨を発行する考えは。

町長 職員を派遣して課題を調査しているが、町単独では難しい。

問 大井町地酒で乾杯推進協議会はどのような事業をしているか。

町長 酒蔵見学を行っている。来年は条例が



市場踏切東側 拡幅が検討される

問 自治会長の意見交換会は今後も継続するのか。出された意見を全庁的に共有しては。

課長 自治会加入促進やSNS普及促進などテーマを決めて、自治会役員と担当職員でワークショップを開催したいと考えている。

問 その後意見交換会が出された意見は、庁内で共有したい。

町長 本町の集会施設等への補助は近隣と比べ少ないのでは。金額や補助対象の拡充は。

課長 物価高騰など状況を共有しながら、継続的に検討していく。

問 自治会加入率の達成状況は。

町長 今年度は63・6%であり目標の78%を大幅に下回っている。自治会ごとに課題を整理しターゲットを明確にした上で、取組みを推進したい。

問 町が自治会を重要なパートナーと認識しているなら、町有地だけでなく借地料を取らないことは無理なのか。

町長 近隣でも借地料無料や補助を行っている自治体は多いが、自治会の実情に応じて用地を確保してきた経過がある。

問 自治会役員の負担軽減は。

町長 自治会役員と担当職員とのミーティング



議員 大石 舞

Q 自治会借地料の公費負担など、助成事業の充実は

A 各自治会が負担すべきものだが、実態把握に努めていきたい

町長 今年度は63・6%であり目標の78%を大幅に下回っている。自治会ごとに課題を整理しターゲットを明確にした上で、取組みを推進したい。

問 町が自治会を重要なパートナーと認識しているなら、町有地だけでなく借地料を取らないことは無理なのか。

町長 近隣でも借地料無料や補助を行っている自治体は多いが、自治会の実情に応じて用地を確保してきた経過がある。

問 自治会役員の負担軽減は。

町長 自治会役員と担当職員とのミーティング



自治会は町の重要なパートナー



しげた ゆき 議員
重田 有紀

Q 大井中央公園に民間活力を
取り入れる考えは

A 公園の魅力を高めるための
管理方法を検討する

問 公園利用者の要望等、把握しているか。

町長 電話や「わたしの提案・意見」で把握し、回答している。

問 やり取りを園内掲示板等を活用し周知する必要は。

課長 周知は必要であり検討する。

問 禁止看板の文言が威圧的に感じるが、必要性や効果は。

課長 少し強めの表現ではあるが、人命、財産を守るために必要である。

問 公園は町民財産でもある。禁止ではなく行政は提案するに留めるべきでは。

課長 管理で常駐でき

るわけではないため看板等に頼るしかない。

問 休憩所を学生の学習スペースとして推奨するなら、WiFi整備が必要では。

課長 スマートフォン普及率から見てその必要性はない。

問 休憩所は子育てカフェを想定していたはず。赤ちゃんとお出かけがしやすくなるよう、ミルク用お湯、離乳食を温めるレンジ等を置いては。

課長 お湯は水筒持参、離乳食はレトルト品で対応するなどにより公園を利用してほしい。

問 マルシェ開催や映画撮影の使用も可能で

あると周知するべきでは。



マルシェとかだんお花植え替えプロジェクト同時開催

は。

課長 周知していく。町内福祉事業者の活力も公園管理に取り入れては。

課長 関係者と協議し進めたい。

問 水場のコケが滑つて危険だが安全対策は。

課長 専門業者と協議し改善していく。

成に伴い、頂点付近から見る富士山の眺望は絶景である。見晴台を作り観光の目玉としたらどうか。

町長 頂点付近の景色はとても魅力的であり、おおいゆめの里や農業体験施設と相まって観光ルートとしても期待している。今後検討していきたい。



おかだ こうじ 議員
岡田 幸二

Q 民間施設と連携した
相和地域の活性化は

A 町道501号線完成を契機に
さらなる活性化へ向け
進めていきたい

問 町道501号線完成に伴い、頂点付近から見る富士山の眺望は絶景である。見晴台を作り観光の目玉としたらどうか。

町長 頂点付近の景色はとても魅力的であり、おおいゆめの里や農業体験施設と相まって観光ルートとしても期待している。今後検討していきたい。

課長 民間業者のグラウンドを駐車場として協力いただいている。他の周辺施設も状況に応じて連携していきたい。

問 大井里山花まつりが春先に開かれたが、その成果と課題は何か。

課長 今年は桜の開花時期の遅れにより、来訪客は昨年より2割減となった。成果では新しく土・日の駐車場利用者にお買物券を支給

し、ビオトピア内のマルシェでも使用できるなど桜フェアと協力した。また、駐車場に台数制限があり、パーク&ライドの導入やシャトルバスの拡充などが今後の課題と考える。

問 さらに周辺民間施設との協力体制を構築していくことが必要と思うが。

【夏の暑さ対策について】
高齢者等にエアコ



501号線頂点付近からの眺望

先進自治体を視察

鈴木 武夫

教育福祉常任委員会では、5月14日から16日間にかけて、群馬県長野原町、高崎市、榛東村を訪問しました。

群馬県長野原町、高崎市「くろぶち英語村」

国際理解教育について

1日目は、ハッ場ダムで有名な長野原町で国際理解教育について視察を行いました。

長野原町は廃校になった旧北軽井沢小学校に、幼小一貫教育のLCAきたかる森のインターを来年4月に開校する予定です。この学校は株式会社が運営するため、長野原町グローバル教育特区に認定されました。幼小一貫教育は大変珍しいことです。生徒は全国から募集をし、1クラス15人制できめ細やかな

教育をする方針です。

2日目は、高崎市のくろぶち英語村を視察しました。ここも、廃校施設を地元から有効活用して欲しいとお願ひされ、集団生活、英語を使った生活、自然の中での生活を目的に開設されました。旧校舎の改修は行わず、敷地内に新設して8年目を迎えます。生徒は親元を離れた自立した環境の中で共同生活を送り、外国人指導員との英語による日常のコミュニケーションを通じて実践的な英語を学んでおります。

どちらの市町も廃校の活用でしたが、本町で同様に取り組むのであれば、実情に合った検討が求められます。



群馬県榛東村

群馬県 榛東村
休日部活動の段階的な地域移行推進計画について

3日目は、榛東村で休日の部活動の地域移行について、行政視察を行いました。

榛東村では、令和5年から協議会を開催し対応していますが、持続可能な活動を目指すことと、指導者の質と量の確保が必要であると言われました。本町においても、しっかりと取り組まなければならないと感じました。

議場体験ツアーを開催

広聴分科会



良かった」「議長役が楽しかった」「議員定数が13名と少ないことにびっくりした」「相和っ子ミーティングと違い豪華で緊張感があった」など感想を頂きました。楽しい思い出になったでしょうか？ 皆さん、ありがとうございました。

5月28日、相和小学校3年生7名の児童の皆さんが、社会科学の授業の一環で議場見学に来庁されました。3階フロアから、議長室、会議室、議場の順に見学しました。議場内では、目を輝かせ、興味津々で議員に質問をしていました。

まず、皆さんは議席に着席し、「特別な椅子に座れてフワフワですごい！」などの感想を述べたのち、模擬議会を開き交代

で議長席に座り、議長役を行いました。議席に座った皆さんからは大人顔負けの鋭い質問が飛び交い、まるで本会議が行われているように感じる一面もありました。1時間ほどの体験ツアーでしたが、参加された皆さんも大変喜んで頂き、とても良い企画になりました。

のちに相和小学校児童の皆さんより、「普段入れない議長室、控室に入れてください。」
是非お問い合わせください。
黒岩 陣太郎



町民課 藤政 茜

新採用職員研修の一環として、大井町議会第2回定例会の1日目を傍聴させていただきました。議論が白熱する場面もあり、議員の皆様の大井町への熱い思いを感じました。

特に印象に残っている一般質問は、「大井よさこいひょうたん祭と町の活性化について」です。ひょうたん祭には町内外から多くの方が訪れ、大井町のことを知ってもらう機会であり、町の活性化につながるというお話がありました。この一般質問の答弁を聞き、ひょうたん祭が大井町の経済的、文化的発展にとって大きな役割を担っていることを改めて実感しました。今年度からは大井町役場の職員として、ひょうたん祭を盛り上げていき、賑わいの創出の一助になりたいです。

税務課 鍵和田 真吉

議会を傍聴させていただいたのは、今回が初めてのことでした。

今回議会を傍聴して、さまざまな議題が挙がっていることに驚きました。私たちが傍聴した初日では、ジビエ等の活用、消防団の現状と課題や市場踏切の改修計画について、様々な分野で議論がなされていました。

私自身、今まで議会に対する意識は希薄なものでしたが、扱われている議題は身近なものが多く、議会への認識が変わりました。また、議員の方々の質問や意見の中に暖かさを感じるとともに、住民の安全・安心に対して真剣に思考されていることを傍聴席にて肌で感じることができました。

都市整備課 上田 航大

新採用職員研修の一環として、大井町議会第2回定例会の一般質問を傍聴させていただきました。私は今まで議会を傍聴する機会がなかったため、大変貴重な経験をさせていただいたと感じました。一般質問の中で特に印象に残っているのは、「ジビエ等の利用について」です。議員のジビエ等を活用した際の様々な利点を交えた意見、対して町長の品質や数量、金銭面等を考慮した執行側としての意見を聞き、両者の大井町をより良い町にしていこうという熱意を直接感じました。

今回の議会を通じて、大井町の課題等を改めて把握することが出来ました。職員として気を引き締め、町のさらなる発展に貢献していきたいと感じました。

《議会を傍聴して》

新採用職員10名が職員研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。ここでは、紙面の都合により令和7年4月1日採用職員の感想を掲載します。傍聴の機会を通じて、地方自治への理解が深まることに期待します。

福祉課 植松 菜緒

新採用職員研修の一環として、第2回定例会を傍聴させていただきました。質問と答弁が白熱する場面もあり、議員の方々や町長の熱量を間近で感じる事ができ、とても貴重な経験をさせていただきました。

今回は、私が携わっている業務は議題には挙がりませんが、日々の業務が大井町の住民の方々の暮らしを支えるものなのだと改めて実感することができました。大井町をより良い町にしていこうために、自分が携わっている業務はもちろんのこと、広い視野をもって業務に取り組みたいです。

今回の議会傍聴を通じて、多くの学びを得ることができました。この学びを糧に、町の職員として、より一層励んでまいります。

都市整備課 中村 雄飛

今回の議会傍聴の中で興味深かったのはイノシシやシカといったジビエ等の利用についてです。野生動物による農作物被害が年々深刻になっているという現状は知っていたものの、それにどう向き合っていくのかという具体的な議論を聞いたのは初めてでした。議論がされる様子を間近で見ること、行政がどのような課題に向き合っているのかを改めて知ることが出来ました。議場の緊張感を感じつつも、町の課題について真剣に話し合う様子を目の当たりにし、町の未来について考えるととても貴重な時間となりました。

今回の議会傍聴を通して、町民が生活しやすいまちづくりを目指し、様々な視点で物事を考え業務に取り組んでまいりたいと思いました。

町のこの人あの人

自分たちの手で、大切な場所を守りたい



山田地区
うちだ 内田 かずま 数馬 さん

大井町消防団長の内田数馬さんを紹介しま

す。

●内田さんは大井町生まれ大井町育ち。消防団への情熱は、幼少期に父親が消防団長を務めていたことから芽生え、内田さんは、そんな父親に尊敬と憧れを幼い頃から感じ、30歳のときに第5分団に入団されました。

●平成26年に副団長に就任した内田さんは、消防団の活動において重要な役割を果たしました。そして、平成30年からは団長として地域の安全を守るために

尽力しています。内田さんのリーダーシップのもと、団員たちは団結し、町を守るといふ共通の目標に向かって進んでいます。

●令和4年には、神奈川県消防協会理事、同協会足柄上支部長を歴任。この役職では、より広範な地域の消防活動を指導し、多くの消防団員を支援しました。内田さんの指導力と経験は、地域の消防活動に大きな影響を与えました。

●内田さんは、「自分たちの手で、生まれ故郷である大切な場所を守

りたいです」と、温かくも決意に満ちた眼差しでその思いを伝えてくれました。普段仕事を抱えながらも、突然の出勤があるため大変なこともあるとしながらも、活動を通じてできた仲間と共に町を守るといふ思いで責務を果たしてきました。

●昨年、内田さんは神奈川県知事表彰を受けました。これは内田さんの消防活動における長年の貢献と努力が評価されたものです。内田さんの活動は、町民にとっても大きな誇りであり、これまでの貢献と地域への深い愛情は、今後も多くの人々に希望と安心を与え続けることでしょう。

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報をお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報誌となるよう、町民の皆様の声をお聞かせください。応募は、電子メール (gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願ひします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しく下さい！

第3回定例会開催
9月2日(火) 午前9時
問合せ先：議会事務局
☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

6月に行われた定例会は、一般質問では6名の議員が多岐にわたる課題を取り上げ、町民の声を代弁しました。また、補正予算においては修正案が出されるなど、非常に活発な議会となりました。

9月から議会の映像配信が始まる予定です。この新しい取組みにより、町民の皆様がより身近に議会の様子を感じていただけることを期待しています。議会の透明性向上に寄与し、参加意識を高めるための一助となれば幸いです。

和田 紀昭

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 鈴木 磯美

副委員長 大石 舞

委員 岡田 幸二

委員 山崎 真弘

委員 和田 紀昭

委員 重田 有紀

委員 笠井 裕太